



花粉の少ない森づくりを応援しよう！

づくり支援倶楽部会報誌

27年度春号

第26号

発行日：平成27年 5月18日



- CONTENTS -

森林循環促進事業の紹介	1
「少花粉スギ・ヒノキの種子生産」東京都農林総合研究センターの取り組み	2
花粉の少ない森づくり運動 2015花粉飛散時期一斉PR	3
企業の森事業報告	5
平成26年度森づくり支援倶楽部活動報告	6

森林循環促進事業の紹介

平成27年度より、東京都は「森林循環促進事業」として「花粉の少ない森づくり」を進めていきます。その概要について御紹介します。

戦後の拡大造林施策により植えられたスギの多くは、その後の木材価格の低迷により更新されずに林齢を重ねています。スギは、30年生以上になると多くの花粉を発生するため、スギ花粉による花粉症が社会的問題となってきました。

さらに、東京における林業及び木材産業の実態は、高コスト・低収入であることから縮小の一途を辿っており、このままではスギ林の更新が進まないばかりか産業としての基盤が消失する恐れがありました。

そこで東京都は、平成18年度から「スギ花粉発生源対策」を実施することにより、スギ花粉の削減と林業及び木材産業の再生を図ってきました。

これまでの間、「森づくり支援倶楽部」や「花粉の少ない森づくり募金」など、皆様の御支援をいただきながら、スギ林の伐採、花粉の少ないスギ等の植栽・保育による次世代の森の育成や多摩産材の供給に取り組んできました。

しかし、更新すべきスギ・ヒノキ林の民間事業者による伐採は、依然として低迷しています。また、人件費高騰などの社会情勢の変化もありました。このため、平成27年度より「森林循環促進事業」として事業を再構築し、引き続き伐採更新を進め、花粉削減と多摩産材の安定供給を図っていきます。

「花粉の少ない森づくり運動」についても、引き続き都民や企業等から幅広く御協力を得て、「花粉の少ない森づくり募金」、「企業の森」、「森づくり支援倶楽部」等を推進していきます。これまでも皆様の御協力によって、この運動を推進していくことができました。今年度以降も引き続き、御協力をお願いいたします。

森林循環促進事業の概要

主伐（樹種更新）事業

都内のスギ林等を面的に伐採し、花粉の少ないスギ等に植え替え、一定期間保育する事業です。これにより、伐って、使って、植えて、育てるという森林の循環を促進し、花粉の削減を進めていきます。東京都農林水産振興財団が事業を実施します。

とうきょう林業サポート隊事業

西多摩地域の森林において、森づくりや林業に関心のある方にボランティアとして植林や下刈り等の森林作業に携わっていただくことで、林業体験をしながら森づくりをサポートする活動を行っていく事業です。この事業では、主伐事業地（花粉の少ないスギ等を保育している山）等において、ボランティアによる森林整備を進めるとともに、森林作業の一翼を担える人材の育成も目指していきます。活動の具体的な内容やサポート隊メンバーの募集等については、随時チラシやWEBサイト等で御案内していく予定です。

低コスト林業技術の確立事業

林業機械導入等による実証的な技術開発を実施し、林業の採算性向上による伐採更新等の森林整備を推進する事業です。

「少花粉スギ・ヒノキの種子生産」 東京都農林総合研究センターの取り組み

「花粉の少ない森づくり」に欠かせない少花粉スギやヒノキ。その種子生産をはじめ最近の取り組みについて、東京都農林総合研究センターの研究員にレポートしてもらいました。

東京都農林総合研究センター緑化森林科の森林チームでは、森林の再生・保全のため、森林とシカの共存に関する研究、広葉樹林化や花粉症対策品種実用化の技術開発などに取り組んでいます。そのなかで、少花粉スギならびに少花粉ヒノキの採種園を整備し、種子の生産を行っています。

少花粉スギについては、平成8年度から全国のスギの精英樹（成長や形質など優れた性質を持つスギ）について、雄花の着生量調査が行われました。その結果、平成20年度末までに、花粉生産量が一般のスギに比べ約100分の1以下である「西多摩2号」「西多摩3号」「西多摩14号」などの少花粉スギ135品種が選定されました（平成26年度末で137品種選定）。研究センターでは、平成21年までに、上記3品種を含む少花粉スギ15品種420本から成る採種園を造成しました。少花粉スギは、花が少ししか着かないので、種子採取の前年の夏に、ジベレリンという植物ホルモンをスギの葉面に散布し、花を多く着かせます。スギの花は雌雄同株（しゅうどうしゅ）と言って、同じ木に雄花と雌花が着きます。3月中旬頃に雌花は満開となり、隣接するスギの雄花の花粉を受粉することによって、ふくらみ始め球果になります。球果は秋

までに成熟し収穫します。そして、乾燥、精選、発芽検定等の行程により種子を生産します。生産された種子は、多摩地区の苗木生産農家によって、2～3年間かけて少花粉スギの山出し苗として育てられます。

また、少花粉ヒノキについても、平成20年度末までに、花粉生産量が一般のヒノキに比べ約100分の1以下である少花粉ヒノキ55品種が選定されました（平成26年度末で56品種選定）。研究センターでは、平成22年3月に少花粉ヒノキ15品種360本から成る採種園を造成し、種子の採取に取り組み始めました。しかし、ヒノキは、スギのようにジベレリンを葉面に散布することでは、花が多く着かないという問題があります。そのため、今のままでは、種子生産が可能となる大きさまで成長させる必要があり、採種園を造成してから種子の生産まで10年程度かかってしまいます。そこで、少しでも早期に種子生産できるように、平成22年から少花粉ヒノキの早期着花促進手法の確立を目的に試験研究を重ねた結果、日本ではじめて、造成後5年目の若木の少花粉ヒノキ採種木から球果の採取に成功し、種子の生産が出来るようになりました。



少花粉スギ採種園



少花粉スギの球果

花粉の少ない森づくり運動 2015花粉飛散時期一斉PR



多摩の森林で育つ花粉の少ないスギ

東京都と(公財)東京都農林水産振興財団では、都民や企業の方々に「花粉の少ない森づくり」への参加・協力を呼びかける「花粉の少ない森づくり運動」を展開しています。都民の方々に花粉の少ない森づくりについてのご理解、ご協力をいただくことを目的として、スギ花粉の飛散時期にイベント等を実施し、PRを行いました。

イベントの開催

学校での箸づくり体験

展示等によるPR

都立公園を活用したPR

イベントの開催

多摩産材を活用した箸づくり体験などを実施し、工作などを楽しみながら事業への興味・関心を深めてもらいました。



新宿まちの先生見本市

1月31日 木工教室
場所：新宿区立牛込仲之小学校
来場者数：約88名
協力：NPO法人新宿環境活動ネット
新宿区

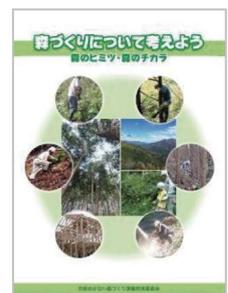
道の駅八王子滝山

3月7日 箸づくり体験
キーホルダー焼きつけ体験
場所：道の駅八王子滝山
来場者数：約122名
協力：道の駅八王子滝山
八王子市

学校での箸づくり体験

学校において、授業の一環として多摩産材を原料に箸づくりを実施しました。林業普及協力員による森林・林業の講義を行い、箸づくりを通して、東京の森の現状と木を使う事の重要性を伝えました。また、PR冊子『森づくりについて考えよう～森のヒミツ・森のチカラ～』の配付も行いました。

小平市立小平第10小学校	4年生	92名	2月8日
板橋区立蓮根小学校	4年生	87名	2月21日
葛飾区立綾南小学校	5年生	46名	3月12日



PR冊子

展示等によるPR

企業や団体様のご協力を得て、ポスター掲示、多摩産材で作成したPRブースの展示、パネル展示などを行いました。

都営地下鉄でのポスター掲示

ポスターの掲示駅

2月19日～25日
 ○新宿駅
 ○新宿三丁目駅
 ○神保町駅
 ○六本木駅
 ○日比谷駅
 ○三田駅
 ○汐留駅
 ○新橋駅
 ○東銀座駅
 ○日本橋駅



都営地下鉄の10駅の構内で、花粉の少ない森づくりPRポスターを掲示しました。

東京都民銀行との協働

多摩産材製PRブースの展示

2月27日～3月25日
 ○茅場町支店（中央区）
 ○板橋支店（板橋区）
 3月10日～3月26日
 ○大泉支店（練馬区）
 ○東久留米支店（東久留米市）



東京都民銀行による「花粉の少ない森づくり定期」の実施に伴い、銀行内にてブース展示によるPR活動を行いました。

多摩産材製PRブースやパネルの展示



エコギャラリー新宿



道の駅 八王子滝山



木材会館



新木場地区

木材・合板博物館

各施設の協力により、多摩産材製PRブースやパネルの展示を行い、訪れた方々へのPRを行いました。

東京マラソン EXPO・東京マラソン 2015 でのPR



東京マラソン財団の行うチャリティ事業の協力団体に選定されたため、東京マラソン EXPO2015 及びマラソン当日において、ブース展示・事業説明などのPRを行いました。



御岳登山鉄道でのPR



御岳登山鉄道(株)のご協力により、ハイキング・イベントに集まった登山客を対象にPRを行いました。

都立公園を活用したPR

2月13日上野恩賜公園において、動物園、博物館等を目的に訪れる多くの来園者を対象に、花粉の少ない森づくり運動についての事業紹介のパネル展示やチラシの配布等を実施しました。



企業の森事業報告

企業の森とは、企業（団体）の協賛により「花粉の少ない森づくり」を進めていく事業です。対象となる森林の所有者、企業（団体）、（公財）東京都農林水産振興財団の三者で10年間の森林管理に関する協定を締結します。その間、企業（団体）は森に名前をつけ社会貢献活動のPRや、研修の場として利用することもできます。

第23号「企業の森・環境ステーションの森（檜原）」協定締結

企業の森第23号となる「企業の森・環境ステーションの森（檜原）」の協定を平成27年2月17日に環境ステーション株式会社、森林所有者、（公財）東京都農林水産振興財団との間で締結しました。環境ステーション株式会社からは、東京マラソンチャリティを通じた寄附や、森づくり支援倶楽部への法人（賛助）会員としての参加などにより、「花粉の少ない森づくり」に多くのご支援を頂いています。今後約10年にわたり、環境ステーション株式会社からの寄附により、対象地の森林整備を予定しています。

▼ 協定締結式



第24号「サントリー天然水の森 とうきょう秋川（企業の森）」協定締結

平成27年4月20日に企業の森第24号となる「サントリー天然水の森 とうきょう秋川（企業の森）」の協定を、サントリーホールディングス株式会社、森林所有者、（公財）東京都農林水産振興財団との間で締結しました。今後約10年間にわたり、対象地の森林整備費相当を寄附いただき、森林整備を予定しています。

▼ 対象地



平成26年度森づくり支援倶楽部活動報告

1. 収支

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

収入の部(円)		支出の部(円)	
1	26年度会費収入 951,000	1	26年度運営経費 450,530
	内訳		内訳
	個人会員 498,000		(1)通信運搬費 98,100
	法人会員 450,000		(2)印刷製本費 103,000
	その他 3,000		(3)会員への特典購入に係る支出 249,430
		2	花粉の少ない森づくり募金 500,470
合計	951,000	合計	951,000

26年度森づくり支援倶楽部の会費から、花粉の少ないスギの苗木約4,200本分に相当する500,470円を寄付いたしました。

苗木は、今後、花粉対策室が行っている主伐事業の現場に植栽していきます。

18年度～26年度

支援倶楽部の寄付による苗木の本数 累計 約35,000本



2. 活動実績と予定

(26年度の活動実績)

平成26年

5月30日 会報誌vol.22・活動報告書発行

8月20日 会報誌vol.23発行

イベント案内を発送

10月18日 森づくり支援倶楽部主催イベント

東京マラソンの森(八王子)植樹体験

11月20日 会報誌vol.24発行

平成27年

2月20日 会報誌vol.25発行

2月24日 入会の案内発送

(メールマガジンについて)

配信回数 24回

(27年度の活動予定)

平成27年

5月 会報誌vol.26・活動報告書発行

8月 会報誌vol.27発行

イベント案内を発送

10月 森づくり支援倶楽部主催イベント

(植樹体験等)

11月 会報誌vol.28発行

平成28年

2月 会報誌vol.29発行

2月 入会の案内発送

(メールマガジンについて)

月1回配信(臨時号を除く)

森づくり支援倶楽部 27年度入会のご案内

森づくり支援倶楽部では、東京の森づくりを応援する会員について27年度の募集をしています。会員特典として、会報誌や多摩産材の木工品等を差し上げています。会費は、運動のPR活動や花粉の少ない森づくり募金などに活用されます。

森づくりに協力したい&多摩の森林にご興味のある方

正会員 (個人)	年会費 3,000円 (ご家族も登録できます※)
賛助会員 (法人)	年会費 50,000円 (1法人)

会員資格は、翌年の3月31日までとなります。

加入されると・・・

多摩産材製品(初めての方は**会員証**)、**協賛施設割引券**(20枚綴)、**温泉施設半額券**、**会報誌**が届きます。

また、倶楽部主催の**森づくりイベント**に無料でご参加できます！
サポート会員は有料でご参加できます。

※ご家族の登録について：

登録の上限は6名です。登録人数分の会員証発行とイベント参加費は無料です。その他の特典は1名分とさせていただきます。

お気軽にご入会いただける

サポート会員 (個人：1名)	入会金 1,000円 年会費 なし
-------------------	----------------------

加入されると・・・

木製会員証、**協賛施設割引券**、**会報誌**が届きます。

新規入会キャンペーン

◆ 正会員(新規)

新規でご加入された方を対象に先着20名様まで
多摩産材キーハンガー
をプレゼント



イメージ

◆ サポート会員(新規)

新規でご加入された方を対象に先着20名様まで
多摩産材
マグネットバー
をプレゼント



イメージ



イメージ

継続正会員対象の特典品
多摩産材「スマホスタンド」

賛助会員のご紹介

～私たちは、「花粉の少ない森づくり運動」に賛同しています～

賛助会員を随時募集しています！(年会費50,000円)
会費は、「花粉の少ない森づくり」に役立てられます！

東京の森づくりを応援します



不動産コンサルティングのNO.1企業を目指す!!

環境ステーション

TEL:03-3561-4755

東京都中央区銀座1-8-14

東京木材問屋協同組合

理事長 吉条 良明

〒136-0082 東京都江東区新木場1-18-8 木材会館

URL <http://www.mokuzai-tonya.jp/>

TEL: (03) 5534-3111 FAX: (03) 5534-7711

立山産業株式会社

〈本社〉

〒197-0011 東京都福生市福生 973

TEL: 042-553-9111 FAX: 042-553-9152

URL: <http://www.tateyama-net.co.jp>

E-mail: eco@tateyama-net.co.jp

“考えます木材流通を前向きに” 東京材木商協同組合

〒111-0052 東京都台東区柳橋2丁目19番8号

TEL: (03) 3862-7081 FAX: (03) 3864-9123

URL: <http://zaisho.sakura.ne.jp/>

e-mail: info@zaisho.sakura.ne.jp

「東京の木の紙」のお問い合わせは

4030 株式会社 シオザワ

〒104-0043 東京都中央区湊 3-4-11 4030ビル(企画開発課)

TEL:03-3551-6201 FAX:03-5541-7725

URL <http://www.shiozawa.co.jp>

新東京木材商業協同組合

理事長 内田 鉄夫

〒171-0044 東京都豊島区千早 1-20-13

URL: <http://www.zaimokuya.or.jp/>

TEL:03-3959-7811

FAX:03-3958-3592

～森を育てたい。だから木を使おう。～ 一般社団法人東京都木材団体連合会

会長 吉条 良明

〒136-0082 東京都江東区新木場1-18-8

URL: <http://homepage3.nifty.com/tomokuren/>

TEL: (03) 5569-2211 FAX: (03) 5569-2233

多摩産材と暮らそう!



パネ協

日本住宅パネル工業協同組合

Japan Housing & Components Manufacturers Co-Operative

東日本支所

〒113-0021 東京都文京区本駒込 6-15-7

Tel: 03-3947-7611 Fax: 03-3947-7627

URL: <http://www.panekyo.or.jp>

公益財団法人東京都農林水産振興財団

森づくり支援倶楽部事務局

〒198-0036 東京都青梅市河辺町6-4-1 青梅合同庁舎3階

TEL: 0428-20-8153 <http://www.tokyo-aff.or.jp/club/index.html>

E-mail: moriclub@tdfaff.com